

横浜市立大学附属市民総合医療センターにおける 医療用麻薬（フェンタニル）の紛失について

横浜市立大学附属市民総合医療センター（南区浦舟町4-57）において、薬剤部で管理している医療用麻薬「フェンタニルクエン酸塩注射液0.1mg（フェンタニル注射液0.1mg「テルモ」）」（以下、「医療用麻薬（フェンタニル）」という。）を1アンプル^{*}紛失したことが10月23日（水）に判明しました。本件については、継続して院内関係箇所を捜索しておりますが、現時点では見つかっておりません。なお、紛失については、神奈川県薬務課に報告の上、事故届を提出しました。また、神奈川県南警察署へも相談をしています。

医療機関として厳重な管理が義務付けられている医療用麻薬を紛失するという事態が発生し、患者様をはじめ、関係者の皆様に、ご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

※アンプル・・・薬液などを封入した小さなガラス製容器

1 概要

10月23日（水）午後4時20分、当院薬剤部職員が、受払い作業をしていたところ、医療用麻薬（フェンタニル）1アンプルについて、払い出し記録と在庫数が一致していないことを確認しました。直ちに麻薬保管用金庫及び作業エリア周辺を捜索するとともに、使用済みの空アンプルに紛れていないかなどを確認しましたが発見には至らず、神奈川県南警察署に相談をし、警察署員立ち合いの下、現場確認、関係職員からの聞き取り、防犯カメラの映像確認などを行いました。

使用済みの空アンプル中に一般的な使用例と異なる破損したアンプルが存在していることから、未使用アンプルを誤廃棄したことが疑われますが、現状で特定には至っておりません。

2 紛失した医療用麻薬

フェンタニル注射液0.1mg（一般名 フェンタニルクエン酸塩注射液）1アンプル

※フェンタニルは疼痛緩和に汎用される合成オピオイド。効能・効果は全身麻酔、局所麻酔における鎮痛、激しい疼痛（術後疼痛、がん性疼痛など）に対する鎮痛。

3 再発防止策

当該事例の発生を重く受け止め、今後再発予防策等の検討を行うとともに、より厳格な管理に努めてまいります。具体的には、払い出し後に未使用分として薬剤部に返却されたアンプルがあった際は、その都度在庫の確認を徹底するとともに、使用済みアンプルを廃棄日ごとに分別する等の再発防止策を講じてまいります。

4 横浜市立大学附属市民総合医療センター 田村 功一（たむら こういち）病院長のコメント

この度は、患者様の健康を預かる立場である当院の医療用麻薬の管理が徹底出来ておらず、ご心配、ご迷惑をお掛けしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。今後、再発防止の徹底に誠心誠意努力して参ります。